

平成27年度卓話集会におけるディスカッションの概要

No.	地区名	質問・要望・提案	回答
1	東町	町議会議員選挙において、ここ数年東町から議員が選出されていないため、卓話集会においてもこの地区からの意見が役場に届いていないのではないのか。	議員は町議であり、どこの地区選出という考えはない。議員は広い見識を持って問題を捉えているため、皆さんの意見を必要に応じて汲み取っている。
2	東町	財政が厳しいということをよく聞かすが、他市町との広域連携は将来どのような方向で進めていくのか。また広域連携をすることによって他の自治体と合併することにならないだろうか。	広域連携をすることで経費の削減が出来ることはメリットであり、今後も積極的に進めていくことを視野に入れて考えている。合併については考えていない。
3	東町	各地区の区長が意見をまとめて議員、町長へ話し合う場はないのか。	区長連絡協議会など、地区からの要望を担当課へ伝える場や、町からの情報提供、各区長同士での話し合う場はあるが、議員を含めた話し合いは今のところ行っていない。
4	東町	財政面で医療費の扶助費が積み重なっており、無駄を減らすためにも、健康な人を増やすためにも、病気になってから医療費補助をするのではなく、予防に費用を費やすべきではないのか。	町では「プレミアムおあしす」や「ロコモティブシンドローム対策」といった予防事業に取り組んでいる。
5	東町	移住、定住等の人口確保はどの自治体も行っているが、差別化はどのようにするのか。町が生き残れるといえる裏づけはあるか。	企業誘致というよりも、若い人たちが大磯に住んでみたい、もしくは大磯で起業したい人を取り込むため、現在問題となっている空き家、空き店舗の活用検討を始めている。
6	東町	若い共働きの人たちが働きやすい環境のために、待機児童や待機保育についてPRしてはどうか。	現在町では待機児童は数名(平成27年4月1日現在18名)いる状況である。若い世代が働きやすい環境等の整備は始めているので、整い次第、周知に努めていく。
7	東町	共働きの世帯で子どもが1歳を過ぎた頃に会社への復帰について考える機会も出てくるが、その際に支援があるとよいのではないのか。子どもの年齢の範囲を把握すれば実施すべき施策を考えやすいのではないのか。	子どもの年齢とその人数について把握しており、現在は施策を考えている。
8	東町	皆が知恵を出し合うためにも情報の提供について、広報やホームページに載せて終わりではなく、対話できる場を増やして欲しい。	広報、ホームページ、卓話集会などの情報提供は引き続き行っていく。皆さんから情報提供できる場を作っていただくことも、一つの方法である。
9	東町	空き家対策などテレビ番組でも放映されているため、問題を解決した自治体やテレビ局に確認してもらえればもっと煮詰まった議論が出来るのでは。	空き家対策については担当課で検討を始めたところである。
10	東町	新しい自転車駐輪場を建設中だが、完成した際には、現在の自転車駐輪場の定期利用者の駐輪スペースについて人数分確保してあるのかを知りたい。	現在利用している方の人数を想定した計画となっている。
11	東町	昨年の台風の際に側溝や下水道のマンホールから水が溢れ、道路が冠水した。以前は業者が側溝に貯まっている落ち葉等を掃除していたと思う。	担当課にも伝えるが、まずは地域の皆さんで掃除をお願いしたい。また、集めたごみの回収など、地域の皆さんの手に負えない状況が発生した際は連絡いただきたい。
12	東町	以前、下水が溢れた際に3日間ほど現場に立ち会うこととなったが、そのときの町職員の対応が適切でなく、不快だった。町に不信感を抱いた。	今後は町民の皆さんに不快感を与えることのないよう職員へ徹底していく。

No.	地区名	質問・要望・提案	回答
13	東町	イベント等何かあった場合には町内のスピーカー(無線)を利用したらどうか。	防災行政無線は防災や人命に関する件のみの利用となっている。
14	東町	研修会を開いても、子育て世代が集まらない。今回の卓話集会の開催時間のように、小さいお子さんがいる家庭では夕食の支度をしていて参加が出来ないのでは。子育て世代の参加しやすいようにやり方を変更した方がよいのでは。	卓話集会の日程や時間は、地区に相談の上決めている。今後も地区からの要望に合わせて対応していく。